

希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	社会福祉法人 東大寺福祉事業団
所在地	奈良県奈良市
代表者名	富和 清隆
申請事業名 主題	快適レスパイトの実現
申請事業名 副題	持続可能な重症児を対象とした子供ホスピスの設立を目指して
解決すべき社会課題	【領域と分野】 1)子ども及び若者の支援に係わる活動 －日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援(②) 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 －社会的孤立や差別の解消に向けた支援(⑤) 3)地域社会における活力の低下その他の困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 －安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援(⑦)
申請事業の概要	難病や重度の障害児の多くは命の危険に晒されつつ家族とともに暮らす。限られた生命、環境で深く豊かな時間を持つことが重要である。本事業では、家族の心の安寧、子供にとっての快適さの提供を目指す。 ①家族の心の支援 地域の協力で難病児とその家族の近隣地域への外出を支援する。本人、家族の活動範囲の拡大、地域の人々の障害理解、他の児・家族の外出の促しを図る。また、専門職や育成ボランティアによる心の相談の機会を定期的に提供し、レジリエンス(明日に向かい生きる力)の回復、心の安寧を図る。 ②重症児から見た快適さ ケア、支援が一方向的にならぬよう快適さの客観的評価は困難だが必須である。指標として「快食・快眠・快便」を取り上げる。三者は密接に関連し、特に穏やかな睡眠は日中の活動の充実につながる。在宅あるいはレスパイト入院中の睡眠時に睡眠評価、自律神経機能などの非侵襲的評価を行い、難病・重症児の睡眠評価の指標を明らかにする。また、それらの指標を用いて、良睡眠を得るための環境、働きかけの工夫を開発しそれぞれの家族に提案する。 ①、②いずれも本人、家族の事業理解、自発的参加自体が家族のレジリエンスを高めることになる。
事業実施地域	奈良県を中心とした近畿地方
申請事業期間	2021年4月～2024年3月
申請助成額	19,989,779円 【内訳】直接事業費19,989,779円、管理的経費0円

■ 審査コメント

- ✓ 小児の療育病院を中心に重心児の入所施設や親子のレスパイト滞在施設を複合的に運営している
- ✓ 多職種サポートによる出会いの場づくりと科学的な計測を通じてQOL向上を図る計画は評価できる
- ✓ 数年後の療育病院の建替えを計画中でその時点で実装化が期待できる
- ✓ 事業計画のアウトカム、資金計画ともに周到で実現性の高さが認められる